来年3月 コミュニティバス運行開始

住民の足・児童の安全安心な下校

9月 定例会のあらまし

9月定例会は、9月1日に招集され、30日までの30日間の会期で開かれました。

財政健全化判断比率などの報告1件、教育委員の任命をはじめ人事案件2件、税条例の一部改正など単行議案6件、補正予算8件、22年度決算認定10会計の議案が上程され、可決認定しました。

議員提出議案1件が提案され、可決しました。

そのほか、陳情2件を審議し採択しました。

一般質問は、9人が当面する町政の問題点をただしました。

デザインも一般公募

（トヨタ自動車ホームページより）

コミュニティバス（29人乗り）新規に2台購入

現在の福祉巡回バスの3ルートから4ルートに拡大

スクールバスとしても運行

Q 運行ルート全体の見直しと方策は。

A 東西ルートを強化し、4ルートに拡大する。利用料は無料を継続する。

愛称を一般公募

Q バスの愛称、デザインは。

A 一般公募を考えている。

Q 省エネ、環境、安全面の対応は。

A 新排気ガス規制対応のディーゼル車、優先席も設ける。スクールバスとして狭い道も走行可能。

（全員賛成で可決）

相見駅自由通路の設置および管理

Q 自由通路の管理は。

A 土木課が管理し、清掃はシルバーに委託。

Q 駅員は何人か。

A 未確定（JRが決める）

（反対2賛成13で可決）

相見駅西駐車場の舗装工事の請負契約

Q 透水性舗装か。

A 環境に配慮し透水性とする。

Q 駐輪場は屋根付きか。

A 250台分は屋根付き。490台分の屋根用基礎は、今回工事する。

（反対2賛成13で可決）

蒲郡市と共同で斎場を改築

蒲郡市所有の斎場が築30年経過し、炉や建物が老朽化してきた。改築にともない建築および維持管理、事務を本町との共同事業とする。

現在の蒲郡市斎場

Q 建設までのスケジュールは。

A 11月に基本設計委託、平成24年度に実施設計、工事着手、平成26年度完成をめざす。

Q 建設費、経営経費負担のあり方は。

A 直近の人口比、前年の実績などで検討している。

（全員賛成で可決）

一般会計補正予算

借金2億円（臨時財政対策債）とりやめ

町民税は、景気の若干の回復により4億8600万円増。公債費負担軽減のため臨時財政対策債2億円のとりやめなどにより、補正額6357万7000円を計上した。

主な事業と質疑

・休日保育等保育士報酬など　306万円

・わしだ保育園改修基本構想等委託料　65万円

Q わしだ保育園大規模改修の内容は。

A 園児増加を見込み、3室増築、平成25年度改修完了予定。

・住宅用太陽光発電システム設置費補助金追加　800万円

・蒲郡市幸田町衛生組合斎場建設負担金　660万円

・民間木造住宅無料耐震診断業務委託料　495万円

Q 申込件数は。

A 110件分。

平成23年度幸田町一般会計・特別会計9月補正予算総括表と採決結果

会計名		補正額	補正後の額	採決
一般会計		6358万円	155億38万円	全員賛成で可決
特別会計	土地取得特別会計	655万円	9729万円	〃
	国民健康保険特別会計	592万円	30億2611万円	〃
	後期高齢者医療特別会計	58万円	2億4805万円	〃
	介護保険特別会計	2521万円	14億2226万円	〃
	幸田駅前土地区画整理事業特別会計	220万円	5億5147万円	〃
	農業集落排水事業特別会計	1452万円	3億5838万円	〃
	下水道事業特別会計	0	7億1469万円	〃

人事案件

・固定資産評価審査委員
斎藤　哲彦（あきひこ）氏（市場区）
（全員賛成で同意）

・教育委員
尾中　明（あきら）氏（里区）
（全員賛成で同意）

陳情

・定数改善計画の早期実施と義務教育費国庫負担制度拡充を求める陳情書
陳情者　幸田町教員組合
執行委員長　望月　幸夫
（全員賛成で採択）

・議場に国旗町旗掲揚を求める陳情書
陳情者　愛知の教育を考える会　杉田　謙一
（反対3賛成12で採択）

議員提出議案

・定数改善計画の早期実施と義務教育費国庫負担制度拡充を求める意見書の提出
（全員賛成で可決）

平成22年度決算
検　証

税収減 住民福祉の向上は

今定例会は、平成22年度の決算を審議するため特別委員会を設置し、一般会計のほか特別会計、水道事業会計など慎重に審議した結果、各会計とも原案どおり認定しました。

歳入は、個人町民税が景気悪化により減少、固定資産税も償却資産分において設備投資の減少で町税全体として、21年度比5億8086万円（7.2%）減少しました。

繰入金が7億5321万円で、21年度比5億2159万円（279.7%）の大幅増となったのは、新駅設置事業に伴い都市施設整備基金、中央小学校体育館改築のため教育施設整備基金を繰り入れしたものです。

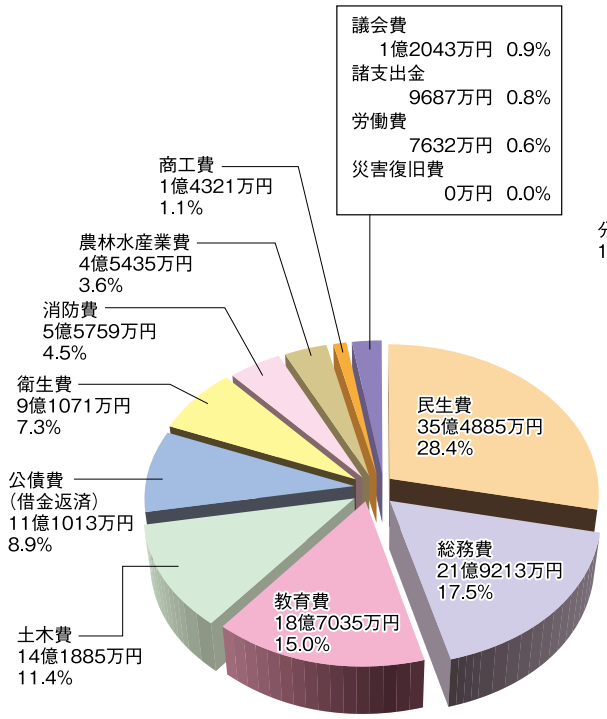
歳出では、新駅および自由通路設置事業、中央小学校体育館建設事業、新駅周辺整備事業、荻谷・深溝小学校給食エレベーター建設事業など、補助事業が計画どおり実施されました。

積立金は、わしだ保育園の改修などに福祉施設整備基金8022万円。将来にそなえ財政調整基金に9686万円となりました。

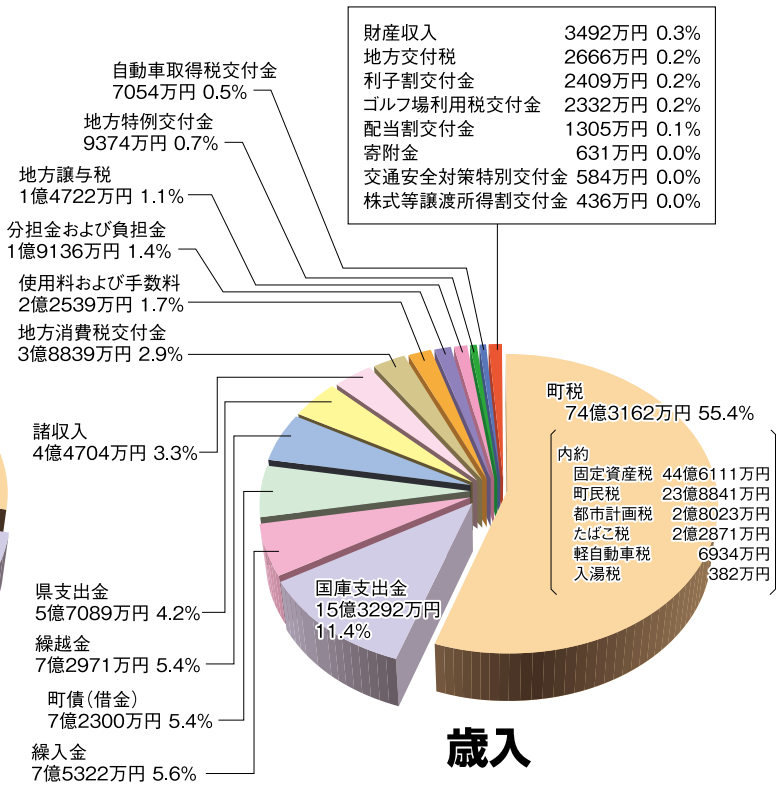
なお、平成22年度の決算総額は、一般会計（円グラフのとおり）と特別会計を合わせて、歳入195億3677万円、歳出184億7812万円となりました。

一般会計の決算額

歳出 124億9979万円　**歳入** 134億4359万円



歳出



歳入

（反対2:賛成13で認定）

主な質疑

Q 繰越金が8億8000万円あるが。

A 継続的な事業が山積しているため、その対応をしていく。

Q 救急出動の多い消防署員は、現体制で十分といえるか。

A 人的補充は段階的に考えていく。

Q 東日本大震災の緊急消防援助活動を経験した後の啓発活動は。

A 10回の報告会、写真展を開催した。

Q 公共施設の借地解消を特に学校は早急に。

A 引き続き努力していく。

Q 国民健康保険税の滞納が増えているが。

A 個々の実態にあわせて納付相談を充実していく。自宅訪問も実施している。

Q イノシシ・カラスなどの鳥獣害の対策は。

A 防護柵・檻などの購入費を補助している。

Q 子ども権利条例の具体的な周知は。

A 子ども用を含め、わかりやすいチラシを配布していく。

Q 公共駐車場料金の未収金の徴収は。

A 時間内に自主的に支払いに来ていただく。今後、自動改札機の設置を予定している。

Q 学校で日本スポーツ振興センター災害共済に加入しているが使用件数は。

A 小学校で191件。中学校で184件の利用があった。

建設事業の主なもの

- 新駅および自由通路設置事業　9億6596万円
- 中央小学校体育館建設事業　2億6824万円
- 新駅周辺整備事業　1億1801万円
- 荻谷・深溝小学校給食エレベーター建設事業　7526万円
- 災害対応特殊自動車整備事業　3869万円
- 道路新設改良（海谷上一木1号線他）　5775万円
- 町民会館駐車場拡張　5075万円
- 住宅用太陽光発電導入　1182万円

VS 討論

反対

暮らしを忘れた決算だ　伊藤 宗次 議員

個人町民税が、09年度決算24億4817万円から、10年度20億9665万円、3億5000万円余と大きく落ち込み、暮らしが厳しさを増しているのに支援しない。

住民合意のない新駅など建設に10億8000万円注ぎ込む一方、基金に1億円積み増し38億円余。

翌年度繰越8億8000万円、過去最高額を出す行財政運営である。

町民には理由なき公共料金3700万円もの押しつけ、国保税6000万円もの大増税だ。

暮らし支援を忘れた町政をよく示す決算である。

賛成

持続可能な財政運営　志賀 恒男 議員

第9次行政改革の「将来を見据えた健全な財政運営の推進」が実行された決算内容である。

歳入は前年度比8・2％減の134億円に対し、歳出は10・1％減の125億円にとどめ、黒字を確保。

少子高齢化社会を迎える中で、社会福祉費や保健衛生費などが増加する傾向は、今後も続くと予想。

低成長の時代でも、町の事業は持続可能性の担保が求められる。近年の災害の特異性や経済環境の激変に備えも必要。

今後も改革の継続と実行で健全な予算実行に期待する。

特別会計・企業会計の決算額と採決結果

会計名			歳入	歳出	採決
特別会計	土地取得		2億3948万円	2億3293万円	全員賛成で認定
	国民健康保険		28億5114万円	28億87万円	反対2：賛成13で認定
	老人保健		199万円	199万円	反対2：賛成13で認定
	後期高齢者医療		2億3850万円	2億3791万円	反対2：賛成13で認定
	介護保険		12億3084万円	12億583万円	反対2：賛成13で認定
	幸田駅前土地区画整理事業		4億8126万円	4億6753万円	全員賛成で認定
	農業集落排水事業		3億9966万円	3億9183万円	反対2：賛成13で認定
	下水道事業		6億5030万円	6億3944万円	反対2：賛成13で認定
企業会計	水道事業会計	収益的収支	6億2296万円	6億60万円	反対2：賛成13で認定
		資本的収支	1億6105万円	5億1152万円	